

独立行政法人
高齢・障害・求職者雇用支援機構
京都支部

京都障害者 職業センター

ジョブコーチ
横田恭子さん



会社への支援が半分なんです

私たちジョブコーチの仕事は、「ご本人への支援」と「会社への支援」が半分半分です。ジョブコーチという名前から「仕事を教える人」という印象を受けると思うんですけど、障害のある方が職場に適応できるように援助をするのが仕事です。

ですから、障害のある方だけでなく、雇い入れていただく会社の方とも事前にお話しさせて頂き、ご相談をお受けします。この仕事をやってもらうつもりだけど、できるのかな？うちには、やってもらう仕事がない…、どんな仕事をしてもらったらいい？ 等気軽に

にご相談ください。

職種は、事務、清掃、ピッキング、調理、介護、等々…、過去の経験を活かす人、全く違う仕事を選ぶ人、さまざまです。

精神障害の方、例えば統合失調症の方などの場合、疲れやすさがありますので、短時間の就業からスタートさせてもらうことが多いです。ご本人はフルタイムでも大丈夫だといわれても、焦りからの発言の可能性もあるので、できれば少しずつ時間を延長する方がいいです。長く働いてもらうためには重要です。

つまりポイントをつかむことが大切

精神障害の方の支援では、不安の軽減に力を入れることが多いです。相談内容は、ご本人だけでなく、会社の方とも共有します。「自分は仕事がきちんとできているか？」、「電話対応ができていないのか不安」等、自分への評価に対しての不安は、会社の方から実際どうなのか伝えてもらうのが一番の安心になります。改善が必要ならそれも正直に話してください。「まだやっていない仕事ができるか不安」、「ミ

スしたらどうしよう」など未来の不安に対しては、やってみてから一緒に考えるように、不安な気持ちに寄り添ってもらえると安心できます。

会社の方には短時間でもいいので、定期的に相談時間を設けてもらうと、不安ポイントをつかんでもらいやすいですし、問題が小さいうちに解決できると思います。相談の回数は徐々に減らしてもらって大丈夫ですが、ゼロにならないようにお願いしたいです。

実際の働く姿をみてほしい

「精神障害の方の雇用は無理」と思っていた会社でも、実習などで実際に働く姿を見ていただくと「どこに障害があるの？」といわれる人もいますよ。それでも、不安に思われるのは仕方ないと思います。それなら、ぜひ、実習でみてもらうのが一番いいと思いま

す。実習を「ただ働きしてもらって悪い」と遠慮する企業さんもいらっしゃいますが、実習生も自分に合っているかどうか、確かめられます。雇用の後も、ジョブコーチはフォローさせていただきますので、うまく支援をご活用ください。

京都障害者職業センター

障害者に対する専門的な職業リハビリテーションサービスを行っている。具体的には、職業評価、職業準備支援、ジョブコーチ支援、リワーク支援など。精神障害の方には、病状や過去の職歴などを聞き、ペーパーでの適性テストや器具をつかった簡単な検査を行う。事業主に対しても、障害者の雇用管理に関する相談・援助、地域の関係機関に対する助言・援助を実施している。



連絡先

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
京都支部 京都障害者職業センター

〒600-8235 京都市下京区西洞院通塩小路下る
東油小路町803
TEL(075)341-2666
FAX(075)341-2678
E-mail kyoto-ctr@jeed.or.jp